

<藤枝特別支援学校焼津分校> 令和5年度 学校経営計画

1 目指す学校像

(1) 教育目標 ひびき合い、つくり合う中で、自立に向けて力強く生きる人を育てる  
～地域で自立し、地域に貢献する人づくり～

(2) 目標具現化の柱

- ア 命を守り、人権を尊重し合う安全・安心な学校づくり (安全・安心)  
教職員が効率よく業務を行い、生徒の学びを支えるための学校づくり (安全・安心)
- イ 生徒一人一人が「主体者」であることを自覚できる授業づくり (授業)
- ウ 社会の一員として地域に貢献する学校づくり (連携)

2 本年度の取組 (重点目標はゴシック体で記載)

	取組目標	達成方法 (取組手段)	成果目標	担当部署
ア 安全・安心	教職員・生徒の人権意識の向上	・相互の対応を振り返る機会の設定	・人権を意識した対応ができた教職員・生徒 100%	学年主任
	「主体者」として行動できる生徒の育成 (イウとも関連)	・年度当初及び学期途中、学期末の確認 (相手に伝わる挨拶: 声量や視線、相手を思いやる態度: 呼び方等)	・自分から相手に伝わる挨拶ができた教職員・生徒 100% ・相手を思いやる態度で対応できた教職員・生徒 100%	生徒指導 学年主任
	救急法・防犯に関する教職員と生徒の対応力向上	・多様な場面を想定した防災・防犯訓練の実施  ・教員…年間2回の緊急時対応訓練 ・生徒…応急手当・心肺蘇生法の学習	・状況に応じた避難経路がわかる生徒、経路の判断ができる教職員 100% ・緊急時の対応や動きを判断できる教職員 100% ・応急手当・心肺蘇生法を理解できた生徒 90%	危機管理委員会 学年主任 危機管理委員会
	多様性を認め合うための正しい知識の定着	・保健の授業や日常生活の中で適切な発言や行動を指導  ・外部講師の活用 (多様性に配慮した指導)	・多様性を理解し他者を思いやる適切な発言や行動がわかる生徒 80% ・生徒の多様性に配慮した指導ができた教員 100%	保健体育
	「段取り八部」を意識した業務改善	・「逆算思考」「引き算思考」「八割思考」でのスケジュール管理	・計画的に業務を進め、業務改善につなげた教職員 90%	管理職 部主事
イ 授業	生徒が分校の目指す生徒像を意識して「自ら求め、選択、決定し、解決する」授業づくりと教員個々の専門性向上	・働くために必要な力を高める指導・支援に焦点を当てた授業研究  ・一人一事例報告 ・ミニ学習会 ・外部講師、センター研修、eラーニングの活用	・生徒一人一人が「主体者」として自覚できる授業を実施した教員 90%  ・事例報告やミニ学習会での学びを授業へと反映できた教員 90%	研究・学習指導 研究・学習指導
	共生社会の構築に向けた教職員の意識向上と実働	・交流学习の目的の明確化、年間計画作成、事後の反省 ・HP、学校公開による発信	・交流や情報発信を通して、共生・共育を推進できた教職員 100%	学年主任 教務・連携 企画会
ウ 連携	生徒を中心に据えた個別の教育支援計画・個別の指導計画の作成と活用	・学年や外部機関と連携し企業情報や生徒の情報を交換 ・PDCA サイクルを意識した個別検討会議、キャリア面談、保護者面談の活用 (日程調整、内容提案) ・参観懇談会を適時に設定	・生徒の適性や希望を考慮した職場実習先や進路先の確保 100% ・生徒を中心に据え、保護者と共に個別の教育支援計画・個別の指導計画を作成、活用した教員 100%	進路 教務・連携